

第 65 回地域農林経済学会大会のご案内

2015 年 6 月 25 日

地域農林経済学会

第 65 回地域農林経済学会大会を下記の要領で開催いたします。地域シンポジウムの開催も予定しておりますので、会員の皆様はもとより、非会員の皆様もぜひご参加ください。

1. 期 日 2015 年 10 月 30 日 (金) ~11 月 1 日 (日)

2. 日程および会場

2-1. 開催地：鳥取大学

住 所 〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101

連絡先 能美 誠 TEL : 0857-31-5410 E-mail : nohmi@muses.tottori-u.ac.jp

 小林 一 TEL : 0857-31-5416 E-mail : hajime@muses.tottori-u.ac.jp

2-2. 地域農林経済学会大会日程（例年と開催日程が異なります。ご注意ください）

開催場所・時間は何れも予定です。必ず、大会前に学会ホームページでご確認ください。

【第 1 日】 10 月 30 日 (金) 地域シンポジウム（農学部会議室 13:00~16:30）

※地域シンポジウムは中国支部大会を兼ねて行います。

【第 2 日】 10 月 31 日 (土) 大会講演および個別報告（共通教育棟講義室）

○個別報告① [9:30~14:20]（講義室）（受付開始 8:30）

○会長挨拶 [14:35~14:45]（A20 講義室）

○大会講演 [14:45~16:55]（A20 講義室）

（大会講演のみの非会員参加者の受付開始 14:00）

○総会 [17:10~18:10]（A20 講義室）

○懇親会 [19:00~21:00]（鳥取市賀露・海陽亭）

【第 3 日】 11 月 1 日 (日) 個別報告（共通教育棟講義室）

○個別報告② [9:00~13:00]（講義室）

※終了時刻は変更することがあります。

【その他】 10 月 30 日 (金)

編集委員会 [17:00~17:50]（農学部小セミナー室 2）

理事会 [18:00~20:00]（農学部中セミナー室 1）

10 月 31 日 (土)

個別報告優秀賞審査委員会 [12:00~12:40]（共通教育棟 A 棟 3F 第 1 会議室）

（同打ち合わせ会議 [8:45~9:15]）（共通教育棟 A 棟 3F 第 1 会議室）

（注）大会会場の地図・交通案内等は、本文末尾をご参照ください。

2-3. 参加費用等

- ・大会参加費：普通会員3,000円、非会員4,000円（大会講演のみの参加の場合、1,000円）、学生会員・学生非会員1,000円
- ・懇親会費：普通会員6,000円、学生会員3,000円（懇親会は、31日の総会終了後に、大学外へ移動して開催されます。懇親会の参加申し込みについては、下記6(3)をご参照ください）

3. 地域シンポジウム(仮題)「地域社会における放置される財の状況と対策そして今後の課題」

(共催：鳥取県・日野郡日南町)

10月30日(金) [13:00~16:30]

近年日本全国各地で、過去に植林された森林、耕作が放棄された田・畑、居住が確認されない家屋、放置された墓などの問題が顕在化しつつある。これまでこうした問題はそれぞれ、放棄された森林問題、耕作放棄地問題、空き家問題などとして別々の課題として扱われてきた。確かに学問的にみれば、それぞれの問題を支える制度や対策は異なるため、個々に考察が行われてきた経緯は理解できる。しかし、所有者側からみた場合、森林、田・畑、家屋、墓などは地域において同時に所有されることが多く、類似する理由から放置されることも多い。学問的・政策的にみても、放置される財(以下、放置財)として一つの課題として構造的にとらえた方が理解が深まり、対策が立てやすい可能性もある。本シンポジウムでは、一地域社会としての鳥取県内における放置財の状況の報告と、鳥取大学・鳥取県・自治体が行っている「放置財プロジェクト」の取り組みを紹介する。ここから、鳥取県内の放置財の状況、対策、そして今後の課題について議論し、放置財に対する包括的理解を深めたい。

座長：能美 誠(鳥取大学)

報告①：「不在村者の放置財の現状の確認—過疎地域と全国の放置財アンケート調査データの比較から」(仮題)

片野洋平(鳥取大学)

報告②：「日南町における空き家問題の現状と課題」(仮題)

石倉嘉寛(鳥取県日野郡日南町企画課)

報告③：「鳥取県における耕作放棄地の現状と課題」(仮題)

西尾博之(鳥取県農林水産部経営支援課)

コメンテーター：秋津元輝(京都大学)

4. 大会講演「『地方創生』時代における地域農林業のあり方を問う」

10月31日(土) [14:45~16:55]

とりわけ2000年代に入ってから、日本における中央と地方、都市部と農山村部との経済および社会インフラの格差が一層拡大している。しかし、政策は限られた財政予算を効果的に投入するという名目の下で、全般的な格差解消ではなく、「創意工夫」の発揮できる地方に手厚い支援を与えようとする「地方創生」策を進めようとしている。結局、そこから取り残された多くの「地方」において、中央・都市部との格差がさらに増大すると予想される。

農林業が経済的・社会インフラ的に劣位におかれた「地方」の主要産業であることは今も変わりはない。生産条件の不利な地域でも農林業を基盤にして格差解消ができるよう、農(林)業の六次産業化が唱えられている。この方策は、生産面だけでなく消費面も巻き込んだ食農システムの革新という可能性を秘めているものの、他方でたんに地方間の競争を煽るだけで、結局は格差を生み出した社会背景から一歩も出られないという危険も孕んでいる。

こうした近年の状況のなかで、地域農林業はどのような方向に舵を取り、どのような役割を担うべきなのか。それを考えるためには、「地方創生」への批判をスプリングボードとして具体的な

方策を考えると同時に、より長期的・文明論的視野も必要となる。大会講演では、文明論的・理論的議論と実践事例報告を提供し、それらを往還する討論を通じて、格差拡大時代の地域農林業のあり方について検討したい。

コーディネータ（講演意図・解題）：秋津元輝（京都大学）

講演①：「戦後農山村思想の転換点：新しい地域継承システムと地方創生」

内山節（哲学者・立教大学元教授・NPO 法人 森づくりフォーラム代表理事）

講演②：「真に必要な地方創生支援とは何か：西粟倉村での仕事づくりの経験から」

牧大介（株式会社西粟倉・森の学校代表取締役）

総括コメンテーター：玉真之介（徳島大学）

ディスカッション

5. 個別報告

10月31日（土） 9:30～14:20（午前：個別報告優秀賞対象報告を含む）

11月 1日（日） 9:00～13:00

- ①個人・連名報告は1件につき、30分（報告20分、質疑応答10分）を予定しています。
- ②筆頭報告者には、会員の資格が必要*です。非会員の方には、入会関係書類を送付しますので、至急、学会事務局までお申し出ください（学会 HP からのダウンロードも可能です）。また、同一筆頭報告者による報告は一報告に限りますので、ご注意ください。
*個別報告の申込期限（8月18日（火））までに、入会金と年会費の納入が必要です。
- ③個別報告の申し込み方法、プレゼンテーション用ファイル（PDF）の送付、個別報告論文投稿等については、【別紙】の1を参照してください。特に、インターネット経由に移行しているので、十分に注意してください（個別報告論文の投稿についても変更があります）。
- ④個別報告優秀賞には、大会時点（2015年11月1日時点）で37歳未満の若手会員の方ならば、応募することが出来ます。若手会員の積極的な応募を期待します。なお、個別報告優秀賞応募の方法については、【別紙】の2を参照してください。また、表彰規程、審査手続きの詳細については、学会 HP に掲載しておりますので、参照してください。
- ⑤今大会ではセッション募集は行いません。ただし、個別報告の時間帯で複数名がグループとして連続的に報告する形式を希望する場合には2～3時間程度の時間枠を提供しますので、企画担当理事（浦出俊和：urade@envi.osakafu-u.ac.jp）に申し出てください。なお、報告数が多い場合など承れない可能性があることをご了解ください。また報告論文として投稿を希望する場合には、個別報告論文投稿規程にしたがってください。

6. その他連絡事項

(1) 宿泊について

事務局では斡旋いたしませんので、各自でご予約ください。

参考までに、以下にホテル・旅館の一覧表（JR 鳥取駅周辺）を掲載します。

	ホテル・旅館名	TEL	ホームページ・アドレス
①	ホテルニューオータニ鳥取	0857-23-1111	http://www.newotani-tottori.jp/
②	鳥取ワシントンホテルプラザ	0857-27-8111	http://washington.jp/tottori/
③	東横イン鳥取駅南口	0857-36-1045	http://www.toyoko-inn.com/ (東横インの HP)
④	スーパーホテル鳥取駅北口	0857-36-9000	http://www.superhotel.co.jp/ (スーパーホテルの HP)
⑤	スーパーホテル鳥取駅前	0857-22-9000	http://www.superhotel.co.jp/ (スーパーホテルの HP)
⑥	ホテルモナーク鳥取	0857-20-0101	http://hotel-monarque.jp/
⑦	鳥取グリーンホテルモーリス	0857-22-2331	http://www.hotel-morris.co.jp/
⑧	アパホテル鳥取駅前	0857-27-8811	http://www.apahotel.com/hotel/chugoku/01_tottori-ekimae/
⑨	HOTEL RESH 鳥取駅前	0857-29-1111	http://www.resh.jp/
⑩	ホテルアルファワン鳥取	0857-29-9188	http://www.alpha-1.co.jp/tottori/
⑪	鳥取シティホテル	0857-27-6211	http://www.web-nihonkai.com/hotel/
⑫	ホテルナショナル	0857-24-7511	http://www.hotel-national.jp/
⑬	ホープスターとっとり	0857-26-3311	http://hopestar.jp/
⑭	しいたけ会館 対翠閣	0857-24-8471	http://www.taisuikaku.com/
⑮	こぜにや	0857-23-3311	http://www.kozeniya.com/cgi-bin/index.cgi
⑯	温泉旅館 丸茂	0857-23-1311	http://www.marumo.cc/

※ホテル・旅館の場所や料金等については、ホームページ等でご確認ください。

(2) 昼食について

10月30日(金)・31日(土)は、鳥取大学生協食堂が営業しております(詳しくは大会会場でアナウンスします)。

11月1日(日)は、鳥取大学生協食堂が閉店のため、前日(10月31日)に大会受付にて弁当の予約を承ります(11月1日当日の予約はお受けできません)。詳しくは大会会場でアナウンスします。なお、大学周辺には飲食店が十分ありませんので、弁当の予約をお勧めします(お茶代込みで1,080円を予定しています)。

(3) 懇親会の申し込みについて

懇親会への参加を希望される方は、下記の要領でe-mailにて、能美誠(鳥取大学)までお申込みください。懇親会場は大学外のため、会場へはバス(チャーター便)で移動しますので、原則、事前申し込みをお願いします。なお、会費は当日、受付にてお支払いください。

宛 先 : E-mail nohmi@muses.tottori-u.ac.jp

メールの件名 : 懇親会申し込み

メールの本文 : ①氏名, ②所属, ③連絡先住所, ④連絡の取りやすい電話番号

申 込 期 限 : 10月23日(金)

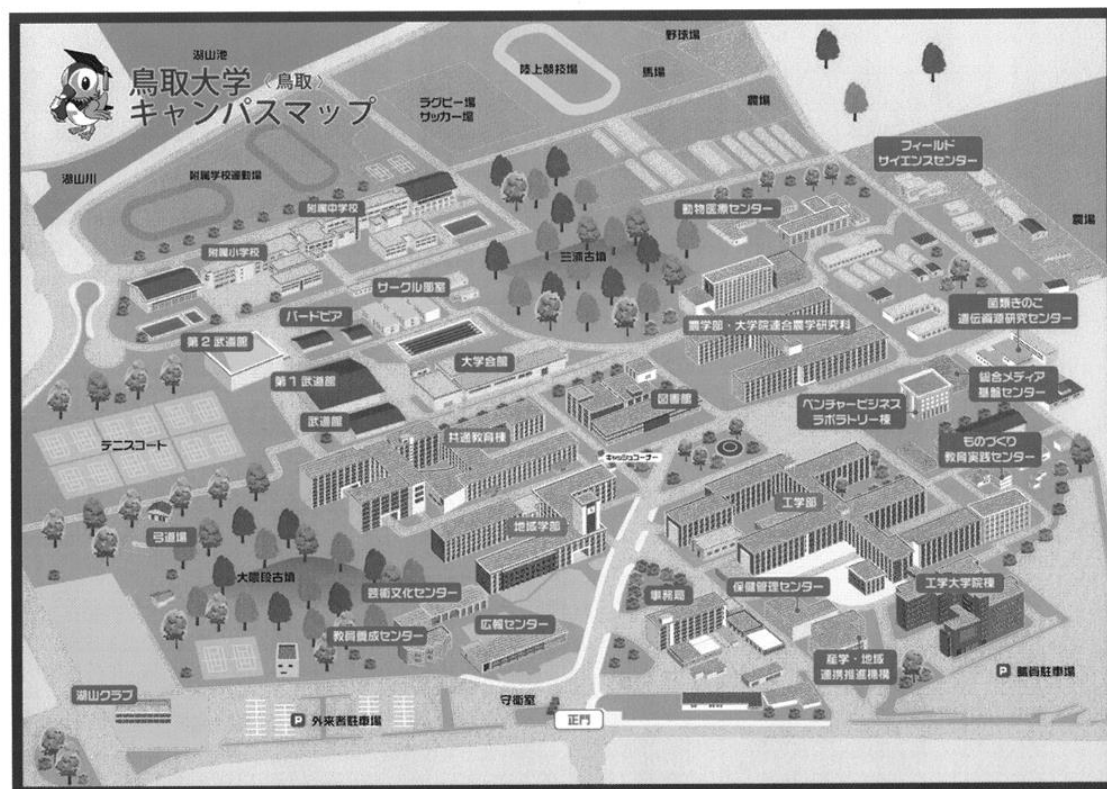
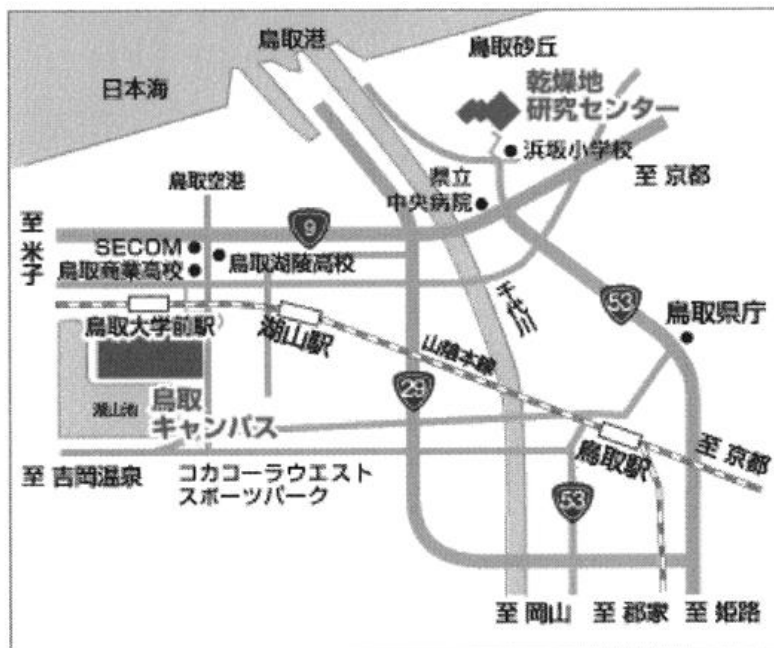
そ の 他 : 複数名分を、一括してお申込みいただいても結構です。

(4) 鳥取大学への交通手段について

(詳しくは、<http://www.tottori-u.ac.jp/1795.htm> をご覧ください)

JR 鳥取駅から

- JR 山陰本線「鳥取大学前駅」下車，正門まで徒歩2分
- 鳥取駅バスターミナル5番のりばから，湖山鳥大線に乗車（約25分），「鳥取大学前」下車後，正門まで徒歩1分，または，湖岸線，鹿野線，賀露循環線「鳥商前」下車後，正門まで徒歩5分
- 鳥取駅からタクシー約15分（2,200円程度）



【別紙】

1. 個別報告の要旨原稿の様式・申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付、個別報告論文投稿に際しての注意事項などについて

(1) 個別報告の要旨原稿の様式

- ① 要旨原稿のフォーマットは、本学会HP (<http://a-rafe.org/>) の「学会誌」にある個別報告要旨様式（作成要領・見本）を参照して下さい。
- ② 要旨原稿は、ワープロで作成したファイルを、必ずPDFファイルに変換して下さい（A4サイズ、1枚）。
- ③ ファイル名は、下記の事例を参照して下さい。

例) (単独の場合) ○○大学・農経花子.pdf
(複数の場合) ○○大学・農経花子他.pdf

また、所属機関の書き方は、下記の事例を参照して下さい。

例) (社会人の場合) ○○大学
○○研究所
(大学院生の場合) ○○大学大学院
(学部学生の場合) ○○大学△△学部
(日本学術振興会特別研究員の場合) 学振特別研究員・○○大学

(2) 申し込み方法

- ① 個別報告の申し込みおよび要旨原稿ファイル（PDFファイル）の提出は、インターネット経由で行ってください。
- ② 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/331d723232976>>です。
パスワードを聞いてきますので、「20150818」と入力してください。
(当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。)
なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」にも上記アドレスをリンクしていますので、そちらを利用して頂くことも出来ます。
- ③ 個別報告要旨は、当日配付する資料等には収録しておりません。個別報告要旨は学会HPにアップし、大会期間中は受付場所で閲覧できるようにしておきます。
- ④ 個別報告希望者は、8月18日(火) 23時までに、上記のURLアドレスを開いて、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」に必要事項を入力して下さい。また、フォームの「IX個別報告要旨のファイル（PDF形式に限る）を添付して下さい。」の欄では、参照のボタンをマウスでクリックし、すでに作成された要旨原稿ファイル（PDFファイル）を選択して下さい。
- ⑤ 一連の操作が終わりましたら、確認画面へのボタンをクリックして下さい。入力された事項が、一覧になって現れますので、入力ミスがあれば、[戻る]のボタンをクリックすれば、何度でも修正することが出来ます。もし、ミスがなければ、[送信する]のボタンをクリックして下さい。

- ⑥ 以上の結果、返信メールが、連絡先メールアドレスに送られる仕組みになっています。数時間たっても連絡先メールアドレスに、受付完了のメールが届かない場合には、再度申請をお願いいたします。また、時間の余裕をもって申請してください。
- ⑦ 「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」入力に関しての質問は、電話では一切受け付けていません。また、入力ミスへの修正対応はできません。
- ⑧ 筆頭報告者は、本学会の会員に限られます。非会員の場合は、本学会HP<<http://a-rafe.org/>>の「会員・入会情報」から、入会申込書（PDF形式）をダウンロードし、必要事項をご記入の上、8月18日（火）午後5時（必着）までに、学会事務局宛てに郵送ないしファックス送信してください。さらに、入会金1000円と学会費（年額）を、学会事務局の郵便貯金口座へ、8月18日（火）午後5時までに、学会事務局で振り込みが確認出来るように、手続きを済ませておいてください。

(3) 個別報告で使用するプレゼンテーション用ファイル（PDF）の送付について

1) 個別報告でPDFファイルを使用する場合（PowerPointファイルは使用できません）

- ① 個別報告会場に備え付けのプロジェクターとPCで報告していただきます。
- ② PDF用ソフトは、Adobe Reader（大会当日の最新版）です。送付される前に、上記のソフトで使用可能か、必ずご確認の上、お送り下さい。なお、PDFファイルを使用する場合であっても、紙媒体の配布資料も用意することが望ましいです。また、変換ミス等で使用できない等のトラブルによって、PCへの入力が不可能な場合でも、事務局では、変換等のお手伝いはしません。その対策としても、紙媒体の持参をお勧めします。
- ③ PDFファイルのプレゼンテーション用原稿は、当日の混乱を避けるため、10月26日（月）23時までに、インターネット経由で提出してください。（時間厳守：事務多用のため、締切以降は受け付けません）。
- ④ 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/1d394ab732977>>です。パスワードを聞いてきますので、「20151026」と入力してください。
（当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意ください。）
なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。
- ⑤ 会場でのPC使用の便宜のため、PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。
- 例) 報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合
（単独の場合）特0101・農経花子.pdf
（複数の場合）特0101・農経花子他.pdf
報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合
（単独の場合）0306・農経花子.pdf
（複数の場合）0306・農経花子他.pdf
- ⑥ ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をしてください。

2) 個別報告および大会セッションで紙媒体を用いる場合

従来通り、聴講者数分の部数を用意して、当日報告会場に持参してください（事務局では印刷の斡旋はしません）。

3) OHPは利用できません。

(4) 個別報告論文として投稿を希望する方へ

※個別報告論文の投稿方法が変更されています。主な変更点は、投稿プロセスの電子化、テンプレートファイル利用必須化の2点です。詳細な投稿方法や原稿作成要領等については、学会HPを随時参照してください。

① 「地域農林経済学会大会個別報告論文投稿要領」（学会HPに掲載，以下，個別報告論文投稿要領と略す）の2にしたがって、「大会前提出原稿」を作成し、10月15日（木）23時までに（郵送の場合は消印有効）、個別報告座長宛てに1部送付（メールまたは郵送）して下さい。個別報告座長については、学会HPで確認してください（9月中頃掲載予定）。「大会前提出原稿」を作成する際には、学会HPに掲載されている「個別報告論文テンプレート」を用いる必要があります。

② 併せて、「大会前提出原稿」は、10月15日（木）23時までに、インターネット経由で提出してください（PDFファイルに変換のこと）。

③ 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/f8970ece32990>>です。

パスワードを聞いてきますので、「20151015」と入力してください。

（当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。）

なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしてありますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。

④ PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。

例) 報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合

（単独の場合）特0101・農経花子.pdf

（複数の場合）特0101・農経花子他.pdf

報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合

（単独の場合）0306・農経花子.pdf

（複数の場合）0306・農経花子他.pdf

⑤ ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をして下さい。

⑥ 大会終了後に提出して頂くことになる個別報告論文の投稿方法・締め切り等については、大会前に学会事務局から投稿案内がメールにて送付される予定です。個別報告論文の書き方・提出方法等については、学会HPに掲載される「個別報告論文テンプレートファイル」および「個別報告論文投稿要領」に従ってください。

⑦ 連名報告での報告者の順位と、個別報告論文での執筆者の順位は、同じでなければなりませんので、ご注意ください。

2. 個別報告優秀賞の応募方法について

- ① 個別報告優秀賞は、個別報告の中から優秀な論文を選考するものですから、報告は通常の個別報告と同様、個別報告会場で行っていただきます。
- ② したがって、個別報告優秀賞に応募される方は、まず、個別報告に申し込んでください。申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付方法、「大会前提出原稿」の送付方法等は、一般の個別報告に申し込まれる方と、まったく同じです(【別紙】1. (4) 参照)。なお、「大会前提出原稿」の提出が必須です。「大会前提出原稿」の提出がない場合には、一般報告扱いになりますので、ご注意ください。
- ③ その上で、個別報告を申し込まれる際に、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」の質問項目のうち、【Ⅷ個別報告優秀賞への応募を希望しますか?】、【「はい」と希望した場合には、2015年11月1日時点での筆頭報告者の年齢を入力してください。】、【今回の応募は、研究論文等として投稿中の研究ではありませんね?】に、必要事項を記入し送信してください。なお、個別報告優秀賞への応募できるのは、2015年11月1日時点での筆頭報告者の年齢が37歳未満の場合です。また、すでに研究論文等として投稿中の研究は応募できません。ご注意ください。

3. 個別報告、個別報告優秀賞に関する問い合わせ先

- (1) 個別報告の「申し込み」、個別報告優秀賞審査対象論文の「応募」に関する問い合わせ先
企画担当理事 (大阪府立大学・浦出俊和 : urade@envi.osakafu-u.ac.jp)
* 学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。
* 申請フォームの入力ミスへの修正対応はできません。
- (2) 個別報告「大会前提出原稿」に関する問い合わせ先
常任編集委員会 (editors@a-rafe.org)
* 学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。